

市立小中学校外校舎空調更新等整備事業

審査講評

令和 8 年（2026 年）9 月 28 日

市立小中学校外校舎空調更新等整備事業プロポーザル審査会

令和 8 年 9 月 28 日
市立小中学校外校舎空調更新等整備事業
プロポーザル審査会 委員長

市立小中学校外校舎空調更新等整備事業に係る公募型プロポーザルについて、市立小中学校外校舎空調更新等整備事業事業者選定基準（令和 8 年 5 月 8 日公表）に基づき、提案内容等の審査を行いましたので、審査結果及び審査講評を次のとおり公表します。

1 業務名

市立小中学校外校舎空調更新等整備事業 A 事業及び B 事業

2 応募事業者数

A 事業及び B 事業とも 2 者

（以下、参加資格審査に伴い付した提案者記号「①」「②」で表記します。）

3 A 事業及び B 事業とも候補者に選定された者の名称

表 1：候補者名

グループ名	テラマエ設備工業グループ
代表企業	テラマエ設備工業株式会社 神戸営業所
構成員	株式会社二神建築事務所
構成員	株式会社川南ファシリティズ

4 A 事業及び B 事業とも次点候補者に選定された者の名称

表 2：次点候補者名

グループ名	日世地域共創グループ
代表企業	日世産業株式会社
構成員	株式会社宮本設計
構成員	株式会社谷井水道工業所
構成員	株式会社北出
構成員	株式会社宝塚電業社
構成員	株式会社辻中
構成員	伊丹産業電設株式会社

5 審査結果

審査委員 4 名の採点結果を合計し、最も総合評価点が高い応募事業者を候補者と選定し、2 番目に総合評価点が高かった応募事業者を次点候補者と選定しました。

表 3：A 事業の評価点の内訳

応募事業者	技術評価		価格評価	総合評価点	摘要
	基礎点	加算点	価格点		
提案者記号①	800	1364	200	2364	候補者
提案者記号②	800	1178	268	2246	次点候補者
委員 1 名あたりの配点	200	500	100	800	有効最低点
最大点数	800	2000	400	3200	1920

表 4：B 事業の評価点の内訳

応募事業者	技術評価		価格評価	総合評価点	摘要
	基礎点	加算点	価格点		
提案者記号①	800	1364	200	2364	候補者
提案者記号②	800	1178	272	2250	次点候補者
委員 1 名あたりの配点	200	500	100	800	有効最低点
最大点数	800	2000	400	3200	1920

6 審査に当たって

本事業においては、参入企業の裾野を広げること、夏休み後の給食提供が遅滞なくできるよう、給食室の空調改修工事を夏休み期間に必ず完了させるものとしているため、A 事業と B 事業の 2 事業に分けて募集しているが、優先順位を示し、2 事業に応募できるものとし、両事業を請負うことも可能としています。

2 者の応募事業者ともに、2 事業に応募し、両事業とも請負うことになっていても実現可能であると、事業体制や機器確保、施工スケジュールの妥当性をもって示していただき、両者とも 2 事業を請負っても完遂できるものと判断しました。

7 審査講評

本事業は、市立小中学校及び特別支援学校の校舎空調設備の更新工事並びに幼稚園も含む LED 化工事、給食室及び配膳室の空調設備の新設工事、並びに空調設備の維持管理を行う事業であり、文部科学省の学校施設環境改善交付金を活用して、教育環境等の整備を図るものです。

事業実施に当たっては、DBO 方式を採用することで、民間事業者の技術やノウハウを活かし早期の整備実現、財政負担の縮減及び平準化を図ることを目指しました。

審査会では、これらのことを念頭に、令和 8 年 4 月 27 日実施の第 1 回プロポーザル審査会で策定、令和 8 年 5 月 8 日に公表した事業者選定基準に基づき、令和 8 年 9 月 24 日に第一次審査合格とした 2 者の応募事業者からの提案について審議を行いました。

今回、2 者の応募事業者いずれの提案も各企業の経験を活かした提案であり、審査会として参加いただいた企業の努力に対して、敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

特に両者とも、本事業にて対策を求めた校舎最上階または西日への対策では、独自に気流シュミレーションや実測調査に基づき、技術的に並ぶ甲乙つけ難い提案をいただいたと評価しています。

候補者に選定された、テラマエ設備工業グループにおいては、各学校の品質管理や学校調整、工事のスケジュール管理、交付金事務担当の配置、不測の事態への対応など、事業を代表企業が一元管理し迅速な判断ができる体制を構築しており、統括責任者 1 名や各事業管理責任者 2 名を含め計 10 名の人員を配置する提案をいただきました。加えて、業務集中時には代表企業からバックアップとして 2 班体制が準備できていること、交付金事務の経験に富んだ人員の配置をしていること、電子情報の共有のためにタブレット端末複数台の貸与をすることで、DBO 方式の利点である自治体職員の業務負担軽減を図る提案をいただき、事業完遂の実現性が高い優れた提案であると評価しました。

他市の事業や本市の市立小中学校屋内運動場外空調設備等整備事業で培った DBO 事業の実績を基にあらかじめ、設計・施工・維持管理が階層的に組織されており、モデル校の選定と先行実施による整備水準の統一、モデル校実施後の学校行事等も踏まえた工期設定、学校環境によって防音形状の目隠しフェンスを選定するなど、事業実施に向けた、より踏み込んだ提案をいただいております。設計及び施工業務の実施体制及びスケジュールの妥当性や学校現場への配慮の面でも優れた提案であると評価しました。

整備内容としては、1 階の給食室と隣接する配膳室について、配膳室を学校

給食衛生管理基準に基づき、確実に室温 25℃以下・湿度 80%以下を満たすために、給食室側の空調環境の影響を受けることから、350W/m²を基準に給食室側の空調整備を実施し、1 階配膳室と一体的に環境改善を行う提案や、校舎最上階または西日への対策において、校舎の空調更新を実施する学校の最上階全と、西日の当たる教室や下層の教室までを含め、少なくとも 200 室を超える対策工事の提案、窓際設置の室内機を 4 方向天井カセット形へ更新する提案をいただいております。事業者としての経験や気流シュミレーションによる実効性のある要求水準以上の提案であると評価しました。

審査会は、候補者がこれらの優れた提案内容をもって、市内企業を活用しながら本事業を着実に実施することを求めます。

候補者には、本事業の実施に当たって、参画する全ての企業がそれぞれの役割を確実に果たし、事業期間中に生じる課題等についても、市との良好なパートナーシップの下、幼児・児童・生徒等にとって質の高いサービスを安定的かつ継続的に提供されるよう期待します。

次点候補者に選定された日世地域共創グループにおかれましては、3 校での実地調査において、教室や廊下・屋上屋根・教室天井裏にて温度・熱中症指数・サーモ測定などを行い、実測データに基づく最上階の普通教室整備に関する提案や、ノウハウを活かした創意工夫のある維持管理・モニタリング、設計や管工事、電気工事にあらかじめ市内企業を参画した体制を構築していただきました。本事業では次点候補者となりましたが、今後とも本市の事業へ参画いただけることを期待します。

8 担当部署

宝塚市 都市整備部 施設マネジメント課